

令和2年2月1日

社会福祉法人

創立50周年



芦別慈恵園

慈恵園だより

No.66

- 発行日/令和2年3月15日
- 発行所/芦別市旭町28番地
特別養護老人ホーム 芦別慈恵園
- 発行責任者/川邊弘美
- 印刷所/旬ワタナベ企画いんさつ



芦別慈恵園ウェブサイト

えがお



ありがとう!



芦別慈恵園 創立50周年!!



かき氷早食い



餅まき



創立50周年記念雪灯りを歩く会



芦別慈恵園は、令和2年2月1日法人創立50年を迎えました。当日は晴れましたが、空気が透き通った寒い一日となりました。

午前中は、かき氷早食い競争や職員のパフォーマンス、紅白の餅まきで賑わい、午後5時から第10回雪灯りを歩く会のウォーキングと花火大会を行いました。最後の打ち上げ花火はともきれいで寒い冬の夜空に輝き50周年を祝福してくれているようでした。200人以上の地域の方や職員が参加してくれた事に感謝の気持ちで一杯です。

これまで、社会福祉法人として芦別に必要な事は何かと考え予防事業や高齢者住宅、介護サービス等に取り組んできました。一つひとつの事業を地道にコツコツと継続し努力する事が慈恵園の特色と考えています。これからも、芦別市内に一つしかない特養として頑張っていきます。

施設長 川邊 弘美

雪灯りを歩く会 寒い中 たくさんの ご参加 ありがとうございます



カフェあんだんて♪
特製フリン



みんなで介護を考える会

市民講座

2月16日、みんなで介護を考える会は第9回の市民講座を開催しました。市民ら150名が訪れ、認知症の症状と家族やスタッフの対応の仕方などに聞き入りました。講師は中野記念病院理事長 古瀬勉先生。先生は、認知症は生活習慣病に起因することが多く、対応にはその人を受け入れる肯定感が何より大事で、周囲の方の理解が大切と話していました。

参加者からは「認知症の事例が身近な内容で考えやすく、周辺症状ごとの家族の関わり方、考え方が書かれており分かりやすく考えることができた」、「当事者になったときには心にゆとりを持って接することができるように今日の講演を活かしていきたい」などの声が多く寄せられ、とても好評でした。



複合型在宅サービス

2月14日のバレンタインデーにホットケーキ作りをしました。

お客様にも手伝っていただき、ホットケーキやドーナツを焼いてその上にチョコレイトや生クリームなどをデコレーションして作りました。

99歳のお客様に焼いてもらったホットケーキは特に人気で、みんなで沢山食べて、楽しい時間を過ごしました。



くらし生き生き委員会

くらし生き生き委員会では、日々の生活の中で行事やサークル活動の参加回数を集計しており、その中でも参加回数の少ない方に注目しています。体力的に居室での休息が長いお客様も、誘導時間の工夫やユニットと体調の確認をするなどして、はつらつコーラス（歌の会）で音楽を聴き皆

さんと一緒に楽しんで頂いています。参加中はとても穏やかな表情をされています。

お客様全員が楽しみを持ちながら暮らしていただけるように続けていきたいと思えます。



2月14日 サポーター研修 開催しました。

研修後は交流会で美味しいお食事です

1月9日 ボランティアスクール 可愛いお孫さんのようでした！



えがお塾ニュース

寒さに負けず 参加しています！ かざぐるま教室 緑ヶ丘教室



スマイル中尾のリハビリ日誌

入居されているお客様で、左側へ強く傾いて座っていらっしゃる方がいました。声をかけたり座り直しのお手伝いをしてなかなかまっすぐ座ることが難しい様子でした。介護技術研修にて、太ももの付け根の筋肉が縮まっているので、ベッドから車椅子に移る前にベッドの高さを上げて、太ももの付け根の筋肉を座りながら伸ばしたら良いとアドバイスをいただき実践しました。1か月後にはだんだんと傾きがなくなってきて、食事も食べこぼす様子が減りました。



3か月経った今では、傾いていることの方が少なくなりました。目的と取り組み内容を明確にすることで、ユニット全体で取り組んでいるのが伝わってきました。

かざぐるま

お正月の元旦には神棚にお参りし、一年の健康をお願いしています。慈恵園で恒例になった元旦の芋餅つきには2～3名で参加されています。

2日には書初めを行い、普段あまり筆を持たない方もスタッフと一緒に書初めを行っています。



リーダー研修開催しました

1月31日、関西学院大学人間福祉学部助教授の田原慎介先生が来園し、リーダー職4名の研修を行いました。今回で2回目となりました。芦別慈恵園の職員として、法人が思い描いている



田原慎介先生

方向性に向けて自分たちリーダー職がどの様にとらえ、発信していくかを学ぶ機会となりました。

内容は、①仕事内容を他のスタッフに1分で紹介。②園の理念や目指している方向性、強み悩み、改善点など理解していることを伝え2人1組で話し合う。③前回の課題を振り返り目標通り進められたかどうか？どこまで達成できたか、出来なかった事とその理由。④次への目標。でした。

次世代を担う職員たちが芦別慈恵園を理解し、リーダー職としての取り組みを進めて行ける様な研修になるよう応援したいと思います。



合同企業説明会

12月6日、芦別商工会議所が主催する合同企業説明会に参加しました。

今年は芦別高校を会場に市内企業15社、学生は芦別高校の他に富良野、新十津川の各校から約90名の参加でした。

先輩職員の声や、ミニバレーやソフトボールなど福利厚生動画を活用しながら慈恵園の取り組みを紹介しました。

限られた時間での説明でしたが、参加した学生の進路決定のお役に立てたら嬉しく思います。



1月22日

新春喫茶コンサート

年始の行事として毎年恒例となった新春喫茶コンサートを開催しました。これは毎週水曜日に行っているボランティアマーガレットによる無料の喫茶の特別行事です。職員によるフルートとピアノの生演奏を聴きながら調理員手作りの甘酒とロールケーキなどを食べ、ゆったりとした時間を過ごしながら『一月一日、富士山、故郷』など馴染みの歌を皆さんで歌いました。約80名のお客様が参加され、「良い時間を過ごさせてもらった」「おいしいおやつまで食べられて最高」と楽しまれました。



1月27日

老人クラブ連合会訪問

素敵な歌や踊り、いつもありがとうございます！



12月5日

ふまねっと 常磐福寿クラブ



にぎやかな笑顔があふれています！



12月1日

市民のど自慢に参加しました！



1月24日

職員親睦会 新年会

芦別慈恵園 職員親睦会



ひろば



昔、奥様とお出かけされる時にはどこへ行っていたか伺うと「パチンコ」だったそうです。「パチンコで勝つには運ですか技術ですか」と伺うと「運だな」。「ツイてることの方が多かったですか」には「いやいやツイてないことの方が多いよ」

「でも嫁さんも一緒だから文句言われないうた」と笑ってらっしゃいました。

昔はお菓子作りが好きで家で作っていた方のお話



「家でも食べたくてね、どう焼きでもなんでも作ったよ」「ロールケーキもね、孫と一緒に食べるんだ」とお話しされるM様は毎週水曜日の喫茶にも嬉しそうに通ってくださいます。



慈恵園のお正月



ご厚意ありがとうございます。

- | | | |
|--|--|--|
| <p>◎訪問、ボランティア
ともしび会、はまなす、ふきのとう、
マーガレット、ミケ、アトム、スマイル、もも、
なごやか、桜井朝子
老人クラブ連合会 ボランティアスクール</p> | <p>◎寄付物品
芦別市
戸草内明 西本三平 山野 守 有倉征寿
大谷利幸
カフェあんだんて♪ 代表 大嶽亮介
㈱あきやま印刷 代表取締役 仲鉢 隆
くもん学習療法センター 代表 大竹洋司
㈱サンコー情報システム 代表取締役 大崎健司
社会福祉法人光寿会 理事長 森 光弘</p> | <p>◎寄付金
芦別市
老人クラブ連合会 会長 根本修身
株式会社一の薬局 代表取締役 片山真二
有限会社タスキン華泉 代表取締役 飯田康博
㈱芦別ポデー工業所 代表 山崎一保
特別養護老人ホーム清光園 理事長 岡崎光雄
中央団地町内会育成部 萩原 徹
西川靖子 岡田和子 高倉シミ子</p> |
|--|--|--|

(令和元年12月〜令和2年2月) 敬称略



移動販売





クリスマス



節分



スタッフ★コラム

創立50周年を無事迎えることができました。雪灯りを歩く会、餅まき、記念誌発行などで皆さんに喜んでいただき、笑顔の言葉をかけてもらうことは最高に嬉しい事です。芦別慈恵園はこれからもお客様や地域の皆さんのために働き続けます。(省)

雪まつり雪像製作 「アナと雪の女王・オラフ」



芦別慈恵園
Instagram

